

愛の心で医療・ 和の心で 励む心で
福祉に奉仕を 協力一致を 創意工夫を

基本方針

1. 患者さまの尊厳を守り、患者さま中心の医療を提供する
2. 安全安心とともに患者さまの生活の質にも配慮した環境を提供する
3. 高い知識と技術を習得し、自己実現を推進する
4. 多職種の連携を深め、できる限り患者さまの自立を支援する
5. ありまこうげんグループ全事業とともに地域に貢献する
6. 患者さま、ご家族さまからのご意見を尊重し、守秘義務を守り、人権に配慮した医療を提供する



社会医療法人 寿栄会 理事長 鈴木 実

2023年度上半期の振り返りと 下半期の事業活動に向けて

日頃より地域の皆さまには、ありまこうげんグループの事業運営にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。残暑も厳しく今夏は本当に酷暑続きで体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか。天候の変化による様々な影響がこれ以上出ないことを願っておりますが、どうかくれぐれもご自愛ください。よろしくお願いいたします。

さて、2023年度も折り返し地点を迎えます。今年度は「チャレンジ・挑戦」というテーマで新年度をスタートしました。目下取り組み中ではありますが、上半期実績として、3つの主要課題に積極的に取り組めました。療養環境の改善では新外来N棟の竣工開設、働き方改革では賃金制度（諸手当や休暇制度など）福利厚生充実を図っております。また、人材育成支援として、専門家による研修会の実施や医療看護ケアの質向上（適切なケアの実施）に関する研修会などを行いました。精神医学講座特別企画では、様々な分野で活躍している著名な先

生方を国内外からお招きしての講演会開催など、学習環境がより充実するよう努めてまいりました。今後も地域の皆さまにもご参加いただける機会として、講演会開催のご案内ができればと思っております。

下半期の事業活動としては「環境」を重要視した施策を講じていければと考えております。具体的には「2024業務継続計画（BCP）」、「新マスタープラン2030（cafeダイニング・高齢者施設・リハビリテーション施設の整備）」、「療養ガーデン」駐車場の整備、「アートインホスピタルの導入」に取り組んで参ります。グループ各事業が地域のための社会資源として皆さまのお役に立てるよう、これからも鋭意努力する所存です。病院・老健・特養などグループが目指す「利用者さまと共に歩み、仲間と共に解決し、地域と共に生きる」の実現に向かって、下半期も一層頑張っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。



病院長 南 健一郎

下半期の ごあいさつ

今年6月に院長に就任し、あつと言う間に3か月が過ぎ下半期を迎えました。今年2月に新病棟「A-wing棟」が開設され、10月より、新外来N棟が竣工開設しました。また、老健施設「青い空の郷」の外壁工事も進んでおり、来春には旧A棟の一部が取り壊され、主道路からの印象も一新されます。新築改装工事が進み、外観が新しく奇麗にされてゆきます。今までとは違う雰囲気になれば、何回も来院されている方でも、期待感は膨らみます。私たちはその期待を裏切らないようにしなければ、せっかく奇麗になった病院も、その評判は落ちてしまいます。そこで働く職員一人ひとりも、少しでも変わらなければなりません。何か小さな事だけでも、変わろうと思つて行動していれば、何もしていない時とは確実に変わってきます。テレビで偉い方が、「社会の大きな変革は、一人ひとりの小さな変革の積み重ねの結果である」と言っていました。一人の小さな改革・変化が合わさって、病院全体の変化を起こしてゆくのだと思います。気張らず、自分自身の中の小さな改革を積み重ね、職員全員で、「みんな笑顔」の病院作りに、取り組んでゆきたいと思ひます。

2023.10

秋号

社会医療法人 寿栄会
ありまこうげん
ホスピタル

2023年ありまこうげん祭 を開催します!

法人本部 主任 橋本 昌彦

2023年ありまこうげん祭を、10月21日(土)に開催する運びとなりました。今年度のテーマは「**チャレンジ!みんなで作る笑顔の輪**」です。このテーマを胸に、患者さま・ご家族さま・地域のみなさま、そして職員もみんなでお楽しみのお祭りを企画しています。

午前からは市民公開講座、移動動物園、患者さま・利用者さま・職員による作品展が開始されます。市民公開講座は「**ヒューマノイドロボットと精神医学との融合**」と題し、大阪大学大学院 基礎工学研究科准教授 吉川雄一郎先生、長崎大学医学部 精神神経科主任教授 熊崎博一先生による講演があります。当法人では数年前から本研究に参画させていただいており、昨年度に引き続き、今回も皆さまにロボットに触れていただく機会が設けられます。午後は、たこ焼き、焼きそばなどの屋台も登場します。地域の方による自家製パンやとれたて野菜の販売、当法人と連携している福祉事業所による出店も予定されています。

職員一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

※市民公開講座は予約優先制としています。参加ご希望の方は、ありまこうげんホスピタルまでお電話にてお問い合わせください。☎ 078-986-1115(代) 担当:総務施設グループ 城戸



新外来N棟の工事完了報告と今後について

法人本部 GM 田中 龍也

長らく改修工事でご迷惑をお掛けしておりました、ありまこうげんホスピタルの新外来N棟が、皆さまのご協力もあり予定通り2023年10月2日(月)に稼働いたしました。新外来N棟では、皆さまにより良い医療を提供できるように考えて設計を行い、リラックスしてご来院いただけるよう什器などを選定いたしました。また、ハード面の変化だけでなく、これからはソフト面についても、



スタッフ一人ひとりが意識向上できるように努めてまいります。

今後、外構工事なども控えており、関係者の皆さまにはご不便をお掛けすることもあります。ご容赦賜れますと幸いです。

最後になりましたが、A-wing棟と外来N棟の竣工と大きな工事が続き、多くの方々にご協力をいただいたことに心より感謝を申し上げますとともに、今後ともありまこうげんホスピタルを何卒よろしくお願ひ申し上げます。



地域活動報告

地域交流センター
センター長 岩井 清司

「第20回上上津納涼の夕べ」と 「第39回岩谷納涼大会」に参加しました。

コロナ禍で3年間中止が続いた「上上津納涼の夕べ」が8月5日に、「岩谷納涼大会」が8月27日にそれぞれ4年ぶりに開催されました。今年はコロナ禍明け初年度のため規模を縮小しての開催でしたが、どちらも老若男女各約150人が参加し、ビンゴゲームや女性グループによる金管五重奏などがあり、盛会裏に終了しました。

ありまこうげんグループは「たこ焼き模擬店」を出店して祭りに協賛しました。たこ焼きは、グループの病院、老健、特養から選出の7人で対応しました。

4年ぶりかつ猛暑であったこともあり、最初の「上上津」地区では、たこ焼きをうまく焼くことができず悪戦苦闘続きで、ビンゴゲームなど祭りを楽しむ余裕は全くありませんでした。しかし、お客さまや地元の方から感謝の言葉をいただき、何かしらお役に立てたことが救いでした。

2回目の「岩谷」地区の方は、「上上津」の経験を踏まえた結果、練度も上がり多少の余裕も生まれ、ビンゴゲームなども楽しむことができました。

地元の2つのお祭りを通して感じたのは、地域の皆さまの連帯感や地域愛でした。久しぶりのお祭りで、皆さまのウキウキした感じや高揚感がこちらにも伝わってきて、ほほえましい気持ちになりました。



なすと鶏肉の揚げ煮



【材料】

- 鶏モモ肉 ……………240g
- かぼちゃ ……………200g
- なす ……………100g
- ピーマン ……………60g
- 片栗粉 ……………10g
- 揚げ油 ……………適量
- 5倍濃縮つゆ ……………10cc



なすの効果



なすびは、夏野菜なのですが、秋口から更においしくなると言われています。ナスは、水分が多く、塩分排出を助けるカリウム、免疫力を高めるβ-カロテン、造血作用がある葉酸などが含まれています。食物繊維も豊富で便秘対策にも多いに期待できます。また、疲労感やむくみを軽減する栄養素も入っており、これからの時期に適した食材です。焼く、煮る、揚げる、どの調理方法でも美味しく食べられる食材です。

管理栄養士の

おすすめ簡単レシピ

作り方

- ① 鶏肉は20gずつにカットにする。
- ② かぼちゃは、1cmくらいの厚さのいちょう切りにする。
- ③ なすは、へたを取り除き、食べやすい大きさに切り、水につけてあくをぬいておく。
- ④ ピーマンは種とへたを取り除き、縦6等分に切る。
- ⑤ 180℃程度の揚げ油で、かぼちゃ、なす、ピーマンを素揚げにする。
- ⑥ 鶏肉に片栗粉をまぶし、揚げ油で揚げる。
- ⑦ めんつゆを5倍に薄める。
- ⑧ ④⑤を⑦のめんつゆにつけ、30分冷蔵庫でねかす。
- ⑨ 皿に盛りつけて完成。

患者さまの権利

当院職員は、患者さまには以下の権利があることを十分に認識し、これらの権利を最大限に尊重して、日常の診療活動を行います。

1. 人格を尊重される権利
2. 良質で安全な医療を平等に受ける権利
3. 情報を知る権利
4. 自己決定の権利
5. 個人情報の秘密が守られる権利
6. 入院患者さまの通信・面会を自由に行える権利
7. 入院患者さまの退院請求を行う権利及び処遇の改善を求める権利

外来担当医表

診療時間：9時30分～12時30分（受付時間：9時00分～12時00分）

	月	火	水	木	金	土
精神科	大内 高橋	福田 西野	高橋 栗山	木村 金	都井 大澤	岡本 松井
歯科	—	山田	—	山田 酒谷	—	—
内科	南	—	南	—	—	—

※医師の都合により、変更となる場合がございますので、予めご了承下さい。
※歯科診療は、入院または通院されている患者さまを対象とさせていただきます。

編集後記

2023年も残りはあと3ヶ月足らず、過ごしやうい季節になってきました。

ありまこうげんホスピタルでは、A-wing棟・N棟の竣工、精神医学講座やありまこうげん祭の開催などあわただしくも楽しい1年が過ぎ去ろうとしています。

これからもっと寒い季節に向かいますので、皆さまくれぐれもお体を大切にお過ごしください。



- 1面 下半期ごあいさつ
- 2面 ありまこうげん祭のご案内
・新外来N棟の
・工事完了報告と
・今後について
- 3面 地域活動報告
・おすすめレシピ
- 4面 デイケアからのお知らせ
・外来担当医表

紙面内容

精神科デイケア

『桜の咲く丘』

お知らせコーナー

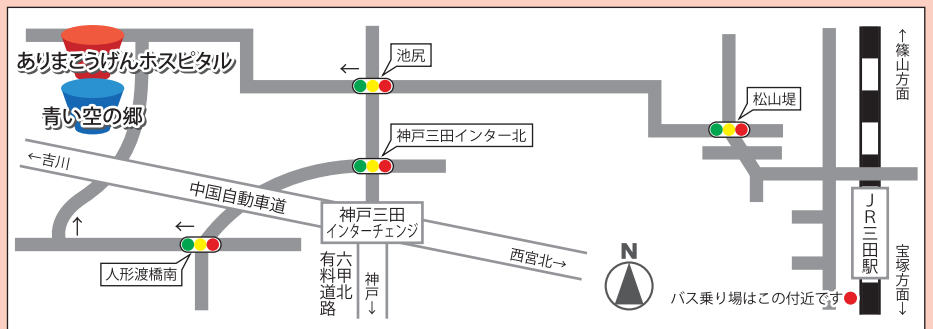
「そうめん」！
夏の食べ物と言えば…
夏バテで食欲が落ちてきている時でもスルスルと食べられますよね。
…という事で、猛暑続きでバテバテなこの夏を乗り切るために、デイケアでは「流しそうめん」を実施しました。（この号が発行される頃には秋でしょうが…）今年も竹の代わりに樋（とい）を繋げて、水を流す方式で行いました。そうめんを上手に取る事が出来て喜んでくれる方、殆ど下に流してしまい苦笑いする方…。

また、今回は更にお楽しみが欲しいという利用者の方からのリクエストもあり、ブドウ（巨峰）・ミニトマト・ピノ（アイスクリーム）・竹輪も準備しました。ブドウとミニトマトはそうめんよりも流れるスピードが速く、転がりに変化もあり、格段に難易度が上がり、つかみ切れない方が沢山いたのですが、中には見事に一発でキャッチされる達人もおられ、驚嘆の声が上がっていました。
最終的にはどなたも全て食された。

プログラム紹介「流しそうめん」



れ、和気藹々とした雰囲気です。これからの楽しみながらハブリができるデイケアとして、有意義なプログラムを実施していきたいと思つた残暑の1日でした。



社会医療法人 寿栄会

ありまこうげんホスピタル

〒651-1512 神戸市北区長尾町上津 4663-3
TEL:078-986-1115 / FAX:078-986-1850
http://www.arimakougen.or.jp

●お車の場合

- ★六甲北有料道路、又は中国自動車道からお越しの場合は…
- ・信号「神戸三田インター北」を北（直進）→0.6km→信号「池尻」を西（左折）1.8kmです。
- ・信号「神戸三田インター北」を西（左折）→0.6km→信号「人形渡橋南」を西（右折）→1.3kmを（右折）0.5kmです。

●電車の場合

JR・神戸電鉄をご利用の方は「三田駅」下車、無料送迎バスをご利用下さい。



日本医療機能評価
機構認定病院